

# 高等学校 家庭科（共通教科）の改訂の方向性（たたき台案）

平成28年4月13日教育課程部会  
家庭、技術・家庭ワーキンググループ  
資料12-3

## 現行学習指導要領

**家庭基礎（2単位）**

- 人の一生と家族・家庭及び福祉
- 生活の自立及び消費と環境
- ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

**家庭総合（4単位）**

- 人の一生と家族・家庭
- 子どもや高齢者とのかかわりと福祉
- 生活における経済の計画と消費
- 生活の科学と環境
- 生涯の生活設計
- ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

**生活デザイン（4単位）**

- 人の一生と家族・家庭及び福祉
- 消費や環境に配慮したライフスタイルの確立
- 食生活の設計と創造
- 衣生活の設計と創造
- 住生活の設計と創造
- ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

## 検討事項

**家庭科の見方や考え方**

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係わる生活事象について、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会を構築等の視点から解決すべき問題を捉え、よりよい生活の実現に向けて考察すること

**「論点整理」における指摘事項**

- 生活の科学的な理解
- 生活課題を解決する能力と実践的な態度の育成
- 小・中・高等学校教育を通じて育成すべき資質・能力の明確化
- 各学校段階を通じて、家庭や社会とのつながりを重視
- 少子高齢社会、資源や環境に配慮したライフスタイルの確立や持続可能な社会づくりのための力、他者と共生し自立して生活する力、生涯を見通して生活を設計し創造していく力の育成

**関連する会議における提言等**

- 少子化社会対策大綱（H27. 3. 20閣議決定）  
妊娠や家庭・家族の役割については、発達の段階に応じた適切な教育の推進を図る
- 高齢社会対策大綱（H24. 9. 7閣議決定）  
高齢社会に関する課題や高齢者に対する理解を深める
- 第3次男女共同参画基本計画（H22. 12. 17閣議決定）  
家庭を築くことの重要性などについての指導の充実を図る
- 食育推進基本計画（H23. 3. 31食育推進会議決定）  
学校教育全体を通して食育を組織的・計画的に推進する
- 和食の無形文化遺産登録（H25. 12. 4）  
日本の伝統的な食文化
- 消費者教育の推進に関する法律（H24. 8. 22）  
学校における消費者教育の推進
- 環境基本計画（H24. 4. 27閣議決定）  
学校や社会におけるESDの理念に基づいた環境教育等の教育を推進する

## 今後の方向性(案)

### 目指す資質・能力等

**○自立した生活者に必要な知識・技能**

- ・家族・家庭、乳幼児の子育て支援等や高齢者の生活支援等に関する技術についての知識・理解、技能
- ・生涯の生活設計に関する知識・理解
- ・各ライフステージに対応した衣食住に関する技術についての知識・理解、技能
- ・生活における経済の計画、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立に関する技術についての知識・理解、技能

**○生涯を見通して生活を創造する能力**

生活の課題を解決するために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造する能力

**○家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度**

様々な年代の人とコミュニケーションを図り、主体的に地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度

### 内容

**必履修科目・単位**

**2単位科目**

- 少子高齢化に関する内容の改善  
・親の役割と子育て支援(乳児期)、高齢者の理解と生活支援技術の基礎、生涯の生活を設計するための意思決定等、少子高齢社会を支える実践力を育成するための内容の充実
- 衣食住の生活に関する内容の改善  
・自立した生活者に必要な実践力を定着させる学習の充実(食育、食文化等の充実)
- 生活の科学的な理解の一層の重視
- 持続可能な社会の構築に関する内容の改善  
・消費・環境に配慮したライフスタイルを確立するための意思決定能力の育成を図る内容の充実
- 「ホームプロジェクト」や「学校家庭クラブ活動」等、主体的に取り組む問題解決的な学習を一層充実

**4単位科目**

- 少子高齢化に関する内容の改善  
・親の役割と子育て支援(乳児との触れ合い、子供とのコミュニケーション)に係る内容の充実(実習等)、高齢者の理解と生活支援技術、生涯の生活を設計するための意思決定等、少子高齢社会を支える実践力を育成するための内容の充実
- ・乳児との触れ合い、子供とのコミュニケーション、高齢者の生活支援に係る内容の充実(実習等)
- 衣食住の生活に関する内容の改善  
・自立した生活者に必要な実践力を定着させる学習の充実(食育、食文化等の充実)
- ・健康、安全等を考慮した衣食住の生活を総合的にマネジメントする力を育成するための内容の充実(実習等)
- ・日本の生活文化の継承・創造に係る内容の充実(実習等)
- 生活の科学的な理解の一層の重視
- 持続可能な社会の構築に関する内容の改善  
・消費・環境に配慮したライフスタイルを確立するための意思決定能力の育成を図る内容の充実
- ・消費・環境に係る地域への働きかけなど社会参画力を育成するための内容の充実(実習等)
- 「ホームプロジェクト」や「学校家庭クラブ活動」等、主体的に取り組む問題解決的な学習を一層充実

小・中・高の系統性、既存の内容の関連性、家庭科における見方や考え方を踏まえた内容の改善